

東北海区沿岸水温予報(2017年)

海域	経過 (9～11月)	現況(11月上旬～ 12月上旬)	見通し (12月～2月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>・定地水温:期間を通してやや低めで推移した。9月と10月に比較して、11月はさらに低めとなった。</p> <p>・9月の海洋観測の結果、津軽暖流域の表面、50m層、100m層の最高水温はともに平年並みであった。また、津軽暖流の水塊深度はやや浅め、東方への張り出しはやや西偏(やや弱め)であった。</p>	<p>・定地水温:11月はやや低めから極めて低め、12月に入っても極めて低めの水温が続いている。</p> <p>・12月の海洋観測の結果、津軽暖流域の表面、50m層、100m層の最高水温はともに平年並みとなった。また、津軽暖流の水塊深度及び尻屋崎東方への張り出しは平年並みであった。</p>	<p>・津軽暖流域の水温は1月も引き続き低め基調で推移し、2月には親潮の勢力が強まることと予測されているため、さらに低めとなる。</p>	<p>・太平洋および我が国周辺の海況予測(FRA-ROMS)によると、親潮第1分枝は1月、2月と勢力を強め、西方に分布を広げる。</p> <p>・親潮の張り出しに伴って、津軽暖流は範囲が狭められる傾向となる。</p>	<p>太平洋沿岸域の小型いか釣り漁業によるスルメイカの不漁。漁獲の少なかった前年の89%、近4ヶ年平均比53%(12月上旬現在。県漁連資料)</p>
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水七発表)	<p>【9月】観測日:9/5～9/8 《表面水温》 10海里以内は18～20℃台であり、全域でやや低めであった。10海里以東は、全域で平年並み～やや低めであった。 《100m深水温》 県北部から南部の10海里付近では極めて低め、県南部の30海里以東は低めであった。 【10月】観測日:10/2～10/5 《表面水温》 10海里以内は17～19℃台であり、全域で概ね平年並みであった。10海里以東は、全域でやや低めであった。 《100m深水温》 県中部から南部の20～50海里沖で、やや低め～極めて低め、県北部の10～40海里沖でやや高め～高めであった。 【11月】観測日:10/31～11/8 《表面水温》 10海里以内は14～16℃台であり、県中部から南部でやや低めであった。10海里以東は、県北部から中部の20海里以東でやや高めであった。 《100m深水温》 本県沖30～40海里を中心に低めであり、県中部沖の30海里付近では極めて低めであった。</p>	<p>【12月】観測日:11/27～11/28 《表面水温》 10海里以内は12～13℃台であり、県南部でやや低めであった。10海里以東は、県中部から南部の30～50海里沖でやや高めであった。 《100m深水温》 県中部から南部の30～50海里沖でやや高めであった。</p>	<p>1月は、100m深及び各0海里定点の10m深ともに平年並みと予測。</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した水温経験的予測システムを用いて解析した。</p>	<p>10月に0～1歳魚のブリが定置網に多く入網した。</p> <p>暖水性のマダコの漁獲が好調。</p>
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水七発表)	<p>【9月】 《表面水温》 18～23℃台で、平年より1～3℃低め。 《100m深水温》 3～16℃台で、142° 30' E以西では平年より1～5℃高めだが、以東では1～4℃低め。 【10月】 《表面水温》 17～22℃台で、142° 30' E付近で平年より2～3℃低め、他の海域は平年並み。 《100m深水温》 3～16℃台で、142° 30' E付近で平年より1～5℃低め、142° E以西では平年より2～3℃高め。 【11月】 《表面水温》 13～16℃台で、平年より1～3℃低め。 《100m深水温》 5～13℃台で、平年より1～5℃低め。</p>	<p>【12月】観測日:11/27 《表面水温》 12～16℃台で、142° 30' E以西では平年より1℃低めだが以東では1℃高め。 《100m深水温》 9～13℃台で、142° 30' E以西では平年より1～2℃低めだが以東では1～2℃高め。</p>	<p>【1月】 《100m深水温》 いずれの海域も平年並で推移する。 【2月】 《100m深水温》 いずれの海域も平年並で推移する。</p>	<p>水温経験的予測システムの主成分スコア自己回帰モデルによる予測</p>	
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	<p>【9月】 県北:沿岸、沖合ともに「平年並み」 県中:沿岸、沖合ともに「平年並み」 県南:沿岸、沖合ともに「平年並み」 【10月】 県北:沿岸は「やや低め」、沖合は「極めて低め」 県中:沿岸は「平年並み」、沖合は「低め」 県南:沿岸は「やや低め」、沖合は</p>	<p>【12月】 県北:沿岸は「やや低め」、沖合は「平年並み」 県中:沿岸、沖合ともに「平年並み」 県南:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや低め」</p>	<p>【12～2月】 「平年並み」、もしくは「高め」基調で推移する。</p>	<p>気象庁の海面水温・海流1か月予報(平成29年12月8日発表)によると、「親潮の南限位置は42°N、144°E」となり、「面積は平年より小さいか、かなり小さい見込み」と予想されている。</p> <p>FRA-ROMSの100m深水温図によると、黒潮系暖水</p>	

	<p>「平年並み」</p> <p>【11月】 県北：沿岸は「やや低め」、沖合は「極めて低め」 県中：沿岸は「やや低め」、沖合は「低め」 県南：沿岸は「やや高め」、沖合は「平年並み」</p> <p>※県北：37-50N、県中：37-25N、県南：37-00N、 沿岸：142-00E以西、沖合：142-15E以東</p>			<p>は12月下旬から2月上旬にかけて本県海域への波及が続くことが予想されている。また、親潮系冷水の波及は12月下旬から1月上旬まで本県海域に届かず、1月下旬に親潮第二分枝からの波及が県北沖合に届くものの、2月上旬には再び途切れることが予想されている。</p> <p>以上のことから12月～2月にかけて平年並み、もしくは高め基調で推移すると推測した。</p>	
<p>常磐南部～鹿島灘 (茨城県沿岸；茨城水試発表)</p>	<p>【9月】 表層では概ね「平年並み」。50m以深では、沿岸域で「平年並み」、沖合域で「やや高め～高め」で、黒潮の影響で「極めて高め」となった点もみられた。</p> <p>【10月】 表層では「平年並み～やや高め」。50m以深では、沿岸域と会瀬～大洗沖では「平年並み～やや低め」、鹿島～犬吠埼定線では「平年並み～高め」。</p> <p>【11月】 沿岸域と鹿島～犬吠埼沖では「平年並み～やや高め」。一方、会瀬～大洗沖では「平年並み～やや低め」。</p>	<p>12月上旬は、表層および50m深では、暖水波及の影響で「平年並み～やや高め」。100m以深でも概ね「平年並み～やや高め」であったが、鹿島～犬吠埼沿岸域では「やや低め」。</p>	<p>「平年並み」で推移するが、暖水波及時には「やや高め」となる。</p>	<p>① 気象庁の1か月予報(12/8)によると、向こう1か月の東北海域および関東の東の海域の海面水温は「平年並みか平年より高い」。</p> <p>② FRA-ROMSによると、1月上旬および2月上旬の水温は、表層・100m深ともに概ね「平年並み」。</p> <p>また、黒潮蛇行部の位置が変動することにより、一時的な暖水波及が予測される。</p>	<p>① 10月～11月にかけて、那珂湊定地水温の月平均値が、近年で最も低い値となった。</p>

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部		常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里	距岸10～70海里	距岸10～70海里		
極めて高い(2.5%)	+3.1℃～	+3.7℃～	+5.8℃～	+5.7℃～	+4.8℃～	+6.1℃～	
高い(7.5%)	+2.0～+3.0℃	+2.4～+3.6℃	+3.8～+5.7℃	+3.7～+5.6℃	+3.1～+4.7℃	+4.0～+6.0℃	
やや高い(20%)	+0.8～+1.9℃	+1.0～+2.3℃	+1.5～+3.7℃	+1.5～+3.6℃	+1.2～+3.0℃	+1.6～+3.9℃	
平年並(40%)	+0.7～-0.7℃	+0.9～-0.9℃	+1.4～-1.4℃	+1.4～-1.4℃	+1.1～-1.1℃	+1.5～-1.5℃	
やや低い(20%)	-0.8～-1.9℃	-1.0～-2.3℃	-1.5～-3.7℃	-1.5～-3.6℃	-1.2～-3.0℃	-1.6～-3.9℃	
低い(7.5%)	-2.0～-3.0℃	-2.4～-3.6℃	-3.8～-5.7℃	-3.7～-5.6℃	-3.1～-4.7℃	-4.0～-6.0℃	
極めて低い(2.5%)	-3.1℃～	-3.7℃～	-5.8℃～	-5.7℃～	-4.8℃～	-6.1℃～	